

都市再生整備計画（雀宮駅周辺地区）事後評価の概要

（1）計画概要

【地区名】雀宮駅周辺地区
 【面積】65.1ヘクタール
 【交付期間】平成19年度～平成23年度
 【交付対象事業費】約87億8千万円（国費率33%）
 【区域】雀の宮1・3・5丁目、雀宮町、下反町町、上御田町の各一部

（2）まちづくりの目標

【大目標】
 駅機能の強化や文教施設の機能集積を図ることで、宇都宮市南部の都市拠点にふさわしいまちを形成する。

【小目標】

- ・ 地区の玄関口となる駅関連施設等の整備をすることにより、雀宮駅を中心とした利便性と安全性の高まった多様な都市機能を備えた地域核拠点を形成する。
- ・ 駅周辺の道路・踏切・東口駅前広場等の基盤整備を実施することにより、駅へのアクセシビリティ、交通安全性、快適性を向上させる。
- ・ 駅東口に文教施設を中心とした都市機能の集積を図ることにより、図書館利用の機会均等化や地域の交流・生涯学習活動の支援・育成等を図る。

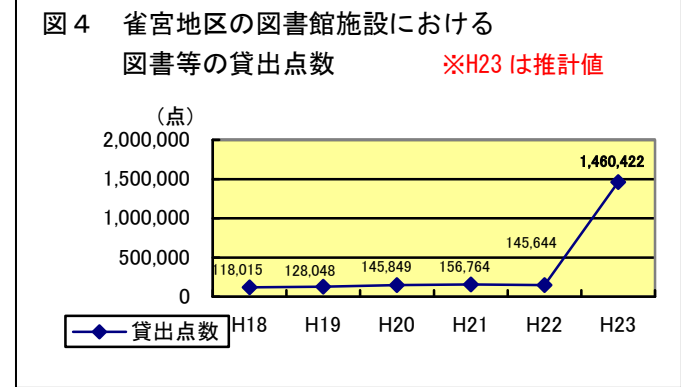
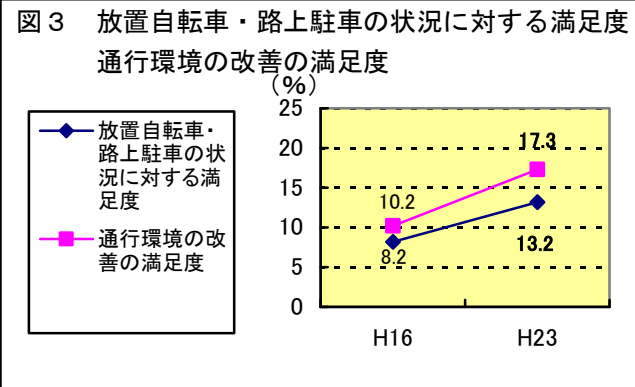
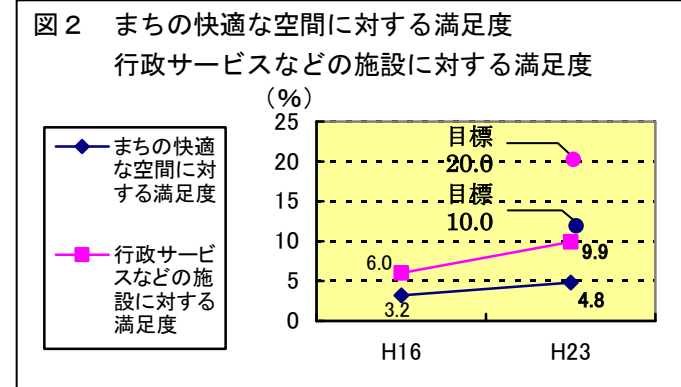
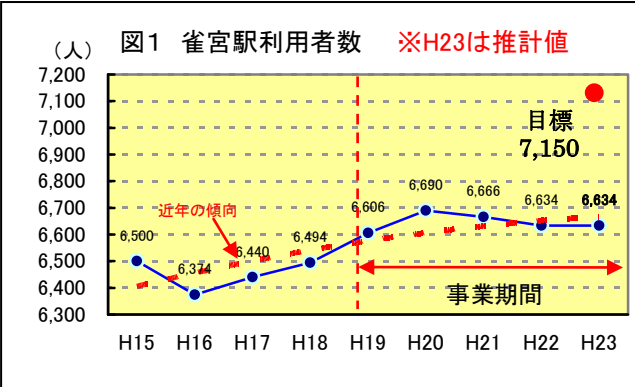
（3）目標の達成状況

指標	単位	従前値	目標値	事後評価	備考
①駅の利用者数	人/日	6,500 (H15)	7,150 (H23)	6,634	増加しており、目標達成が見込まれる
②街の快適な空間に対する満足度	%	3.2 (H16)	10.0 (H23)	4.8	目標値の達成には至らなかったが、満足度は向上している
③行政サービスなどの施設に対する満足度	%	6.0 (H16)	20.0 (H23)	9.9	目標値の達成には至らなかったが、満足度は向上している
④放置自転車・路上駐車に対する満足度	%	8.2 (H16)		13.2	満足度が向上している
⑤通行環境の改善の満足度	%	10.2 (H16)		17.3	満足度が向上している
⑥雀宮地区の図書館施設における図書等の貸出点数	点/年	118,015 (H18)		1,460,422	貸出点数が大幅に増加している
その他	地元住民団体主催のイベントの実施など、住民によるまちづくりが活発化している 駅周辺における高質な空間づくりと景観形成が実現されつつある 駅舎や南図書館の開館を喜ぶ住民が多く、事業への高い評価が見られる				

注）指標④～⑥は、当初設定した数値目標以外の指標（参考値）

（4）実施過程の評価

【モニタリング】 実施なし
 【住民参加プロセス】 ・ 雀宮地区まちづくり推進協議会
 ・ 地元住民の市立南図書館・地域交流センター供用開始イベントへの参加
 【持続的なまちづくり体制の構築】 ・ まちづくり協議会等の地域団体



（5）まちの課題の変化

- 地区の住民の生活や生涯学習活動を支える基盤が整備されたことにより、地域の核となる拠点が形成された。
- 雀宮駅舎の橋上化や自由通路等の駅関連施設の整備により、雀宮駅周辺地区における交通結節点機能が強化された。また、市立南図書館及び県立宇都宮工業高校の開設により、23年度の駅利用者は大幅に増加する見込みである。
- 南図書館及び宇都宮工業高校の開設が交付最終年度の平成23年度であったことや、地区の住民の多くが居住する駅西口周辺の整備事業が未完了であることにより、今回の調査では指標2・指標3が目標達成にまでは至らなかったが、駅関連施設や駅東口周辺道路の整備等の事業を実施したことにより、駅周辺の交通の快適性・安全性や行政サービスに対する満足度は、着実に上昇している。
- まちづくり交付金事業は地区の一体的な整備が可能な制度であり、本地区においても、駅関連施設やアクセス道路などの一体的な整備を実施してきた。今後は、雀宮駅周辺地区におけるさらなるアクセシビリティや快適性等の向上を図っていく必要がある。

（6）今後のまちづくり方策

まちの課題	まちづくり方策
地域核拠点となる施設の一層の利用促進	交流人口の増加と施設の一層の利用促進を図るため、市立南図書館・地域交流センターにおけるイベントやまちづくり活動等、地域の活動の場の提供や活動の支援を持続的に実施する
駅周辺の基盤施設の継続的な整備の実施	駅西口のアクセス道路の着実な整備を進めるとともに、周辺国道・県道の整備と一体となった円滑な交通ネットワーク体系を構築する
住民のまちづくり活動の支援	地域団体と連携・調整を図りながら、住民と一体となったまちづくりを進めていくとともに、住民の主体的なまちづくり活動を様々な形で支援していく